令和５年度　書写　第１学年年間指導計画　和田祥子

月	単元名・教材名・指導目標	時数	学習活動	評価規準
９月	２．読みやすく速く書くための行書			
	［やってみよう］ **速さを比べてみよう** （教科書 P52-53） ◎漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解することができる。［知技(3)エ(ア)・(イ)，(1)イ，A(2)イ］	毛筆 ２	１ 書く速さを意識して，一画ずつ丁寧に楷書で「春・夏・秋・冬」を書く。 ２ できるだけ速く「春・夏・秋・冬」を書く。 ３ １と２で書いた文字を比べて，速く書いたときの文字の特徴を話し合い，速く，読みやすく書くことができる行書を学ぶ意義を理解する。	【知】漢字の行書の基礎的な書き方を学ぶ意義を理解している。 【思】（二つの速さで書き比べる活動のなかで，両者の形の違いを確かめている。） 【態】積極的に(①)速く書いたときの文字の特徴を捉え(③)，学習の見通しをもって(②)行書を学ぶ意義について話し合おうとしている(④)。
	行書の特徴（教科書 P54-55） ◎漢字の行書の特徴を理解することができる。［知技(3)エ(イ)，(1)イ，A(1)オ(2)イ］		１ 楷書と行書で書かれた「緑」を比較して違いを見つけ，話し合う。 ２「学習の窓」を見て，行書の特徴を理解する。 ３ 行書で書かれた「緑」を指でなぞり，行書の特徴を確かめる。 ４ 教科書Ｐ55 下段を見て，今後の学習内容を知る。	【知】漢字の行書の特徴を理解している。 【思】(行書で書かれた「緑」をなぞるなかで，行書の特徴を確かめている。) 【態】積極的に(①)楷書と行書の違いを考え(③)，学習課題に沿って(②)行書の特徴を話し合おうとしている(④)。
10 月	**丸み・点画の連続** (教科書 P56-57) ◎漢字の行書の基礎的な書き方（丸み・点画の連続）を理解して，身近な文字を書くことができる。［知技(3)エ(イ)，(1)イ］	毛筆 ２	１ 行書で書かれた「一」を指でなぞり，楷書との筆使いの違いを理解する。 ２「学習の窓」を見て，点画が丸みを帯びる理由と，行書で書くときの留意点を確かめる。 ３ 丸みを意識して，毛筆で「一」を書く。 ４ 行書で書かれた「二」「口」を指でなぞり，楷書との筆使いの違いを理解する。 ５「学習の窓」を見て，点画が連続する理由と，主な連続の仕方を確かめる。 ６ 点画の連続を意識して，毛筆で「二」「口」を書く。 ７ 毛筆で学習したことを生かして，硬筆で「一」「三」「日」「口」を書く。	【知】漢字の行書の基礎的な書き方（丸み・点画の連続）を理解して，身近な文字を書いている。 【思】(毛筆で「一」「二」「口」を書くなかで，行書の特徴＜丸み・点画の連続＞を確かめている。) 【態】進んで(①)行書の書き方（丸み・点画の連続）を理解し(③)，学習課題に沿って(②)「一」「二」「口」を書こうとしている(④)。
11 月 12 月	**点画の変化** (教科書 P58-63) ◎漢字の行書の基礎的な書き方（点画の変化）を理解して，身近な文字を書くことができる。［知技(3)エ(イ)，(1)イ］	毛筆 ３	１ 楷書と行書で書かれた「大木」を比較して，点画（終筆の形）が変化している部分を鉛筆で囲み，形が変化する理由を話し合う。 ２「学習の窓」を見て，点画の終筆の形が変化する理由と，主な変化の仕方を確かめる。 ３ 行書には多様な書き方があることを理解する。 ４ 点画の終筆の形の変化を意識して，毛筆で「大木」や「北西」「月光」を書く。 ５ 毛筆で学習したことを生かして，硬筆で「大木」「北西」「月光」を書く。	【知】漢字の行書の基礎的な書き方（点画の変化）を理解して，身近な文字を書いている。 【思】(毛筆で「大木」「北西」「月光」を書くなかで，行書の特徴＜点画の変化＞を確かめている。) 【態】進んで(①)行書の書き方（点画の変化）を理解し(③)，学習課題に沿って(②)「大木」「北西」「月光」を書こうとしている(④)。
１月 ２月 ３月	［国語］季節のしおり１ (教科書 P64-65) ◎今までに学習した知識・技能を生かして書くことができる。［知技(3)ア，エ(ア)・(イ)，(1)イ］	硬筆 １	１ 季節にまつわる詩歌や言葉を音読して味わう。 ２ これまでに学習したこと（楷書の筆使い／楷書に調和する仮名／文字の大きさと配列／行書の特徴）に注意して，楷書・楷書に調和する仮名，行書で季節の言葉を硬筆でなぞる。	【知】今までに学習した知識・技能を生かして書いている。 【思】(季節の言葉をなぞる活動のなかで，今までに学習した知識・技能の生かし方を考えている。) 【態】積極的に(①)習得した知識・技能を振り返り(③)，今までの学習を生かして(②)季節の言葉をなぞろうとしている(④)。